

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 7 年度第 3 回 所沢市地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和 7 年 11 月 7 日(金) 午後 2 時から 3 時 20 分まで
開 催 場 所	所沢市上下水道庁舎 3 階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	安藤 幸男、粕谷 雅子、守谷 秀子、須田 静男、楠田 房雄、 倉科 大地、秦野 凌、霜村 益久、関根 肇、尾崎 晴男、川村 英輝、 島根 淳、永井 英喜、肥沼 宏至、小池 純一、遠藤 弘樹、黛 浩一郎
欠 席 者 の 氏 名	中野 幸、岩澤 貴顕、藤田 貢、加藤 和伸、飯島 勲、小嶋 文、 齋藤 陽介、小寺 勝
議 題	(1) 柳瀬地区ところワゴンの本格運行について（協議） (2) 富岡地区ところワゴンの本格運行について（協議） (3) 所沢市地域公共交通計画の評価（令和 6 年度分） (4) その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料 1 柳瀬地区ところワゴン路線図（令和 8 年 3 月～） ・ 資料 2 富岡地区ところワゴン路線図（令和 8 年 3 月～） ・ 資料 3 所沢市地域公共交通計画の達成状況評価 ・ 道路運送法施行規則第 4 条第 2 項に基づく地域公共交通協議会に おいて協議が調っていることの証明書（案） ・ 所沢-成田空港連絡バス運行再開チラシ
担 当 部 課 名	街づくり計画部：高野次長 都市計画課：増子課長、村田室長、須田副主幹、児玉主査、 松岡主任、松田主任 【事務局】：街づくり計画部 都市計画課 電話 04-2998-9192

様式第2号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
	1 開会 会議成立の報告(出席者 17 名) (以下、尾崎会長が議長となり進行) ・ 会議は公開 ・ 傍聴者：5 人
	2 議事 (1) 柳瀬地区ところワゴンの本格運行について（協議） ※資料 1 をもとに説明
事務局	
会長	事務局から説明があったが、意見・質問はあるか。
副会長	「井頭やなせみどりの丘」はやや長い名称だが、今まで公共交通へのアクセスが出来なかった地区への延長は大変良いことだと考える。
会長	案のとおり、協議が調ったこととして良いか。
委員	協議が調った旨の証明書には、系統図の他に、路線ごとの運行本数や路線図も添付する必要がある。
事務局	しっかりと審査していただけるよう、必要書類を添付して国へ提出する。
会長	適切に対応してもらいたい。他に意見があるか。
各委員	(意見なし)
会長	柳瀬地区ところワゴンについては、協議が調ったこととする。
	(2) 富岡地区ところワゴンの本格運行について（協議） ※資料 2 をもとに説明
事務局	

会長	事務局より説明があったが、意見・質問はあるか。
各委員	(意見等なし)
会長	富岡地区も協議が調ったこととして良いか。
各委員	(異議なし)
会長	富岡地区ところワゴンも協議が調ったこととする。柳瀬地区と同様に、必要な書類を添付して、国へ提出するように。
事務局	承知した。
事務局	(3)所沢市地域公共交通計画の評価（令和6年度分） ※資料3をもとに説明
会長	事務局からの説明、各指標の評価、評価コメントの案について、意見や質問はあるか。
委員	指標4の評価コメントに「抜本的に見直し」とあるが、抜本的に見直すならば、D評価になるのではないか。
事務局	鉄道・路線バス・ところバス・ところワゴン・タクシーという、定時定路線を基本とした現在の公共交通を維持して、ネットワークを見直すという意味で、C評価とし「抜本的に」という言葉を使用した。 ところワゴンを止めて、デマンド交通に切り替えるなどの方針転換が必要となる場合は、D評価になると考えている。 現状、市民からそこまでは求められていない。
会長	満足度を上げるのはなかなか難しいが、D評価の判断を下すには少し早いように思う。
委員	指標5、指標6のグラフの表現について、当該年度の数値をドットで表し、累計を一色の棒グラフにした方が、その上の表の表現と合うのではないか。
事務局	表現方法は工夫したい。

会長	事務局で検討し、必要であれば修正するようにお願いします。
委員	指標 5 は順調に取り組んでいるが、達成しているわけではないので、評価コメントに「継続して取り組む」旨を入れるのはどうか。
会長	指摘のとおりである。「ターゲット層を明確にした MM の実施に引き続き努められたい。」としたい。
委員	指標 2 について、ここ数年、燃料費が高止まっていることは確かだが、車両のメンテナンスや、女性にも運転手を担ってもらうための設備を整えるなど、事業者が取り組むべきことが増えたことも経費増加につながっている。 現状は、目標値をクリアしているが、早めに手を打つようにお願いしたい。
会長	評価コメントに「さらなる利用者増」という文言を加えたい。
副会長	指標 1 の評価の視点に「連携」という言葉があるが、実際に連携により利用者増につながっているような取り組みはあるか。
事務局	西武鉄道、西武バスで企画乗車券を販売していると思うが、紹介していただけるか。
委員	西武鉄道と西武バスでは、3 年前から、12 月～3 月の利用者が少なくなる時期に、全路線の 1 日乗り放題切符と近隣施設の利用クーポンを組み合わせた企画乗車券を販売している。 この企画乗車券の販売数は、年々増加している。施設の利用クーポンを使っていない方もおり、1 日乗車券だけでも価値があるものとなっている。
会長	連携した取り組みへの言及も、評価コメントに入れたい。
委員	指標 4 について、市民意識調査は毎年度 7 月に実施されるため、調査結果に反映させるためには、政策を市民に PR するタイミングもかなり重要になってくる。
会長	行政は、広報・周知・PR などを不得手にしているように感じる。「タ

	イムリーに市民に取り組みを伝える」という文言をコメントに入れた い。 他に意見等あるか。
各委員	(意見なし)
会長	では、本日出た意見を反映して、本協議会からの評価とする。
委員	(4)その他 ・所沢-成田空港連絡バスの運行再開について（バス事業者） 前回の協議会で報告した、所沢-成田空港連絡バスの運行再開のチラシを配布した。積極的にご利用いただきたい。
委員	・所沢駅東口-東所沢駅のバスダイヤ改正について（バス事業者） 所沢駅と東所沢駅を結ぶ路線は、利用者が多い路線だが、交通渋滞により定時運行が難しくなっていたため、11月1日にダイヤ改正を行った。所要時間が増えたが便数を維持するため、乗務員の割り当ても増やして対応している。
委員	・県民の日 県庁オープンデーについて（県） 11月14日（金）の県民の日に開催する県庁オープンデーに西武バスから車両を派遣していただき、運転席体験を実施する。ぜひ参加してもらいたい。
委員	・県の補助事業について（県） 先ほど、女性運転手のための設備投資の話があったが、埼玉県では補助制度を用意しているので、活用してもらいたい。
委員	・所沢市障がい者団体協議会からの要望について（委員） 前回の協議会の際に質問した項目については、回答いただき感謝する。改めて、所沢市障がい者団体協議会での話し合いの結果、質問、要望をお伝えしたい。 ・窓口遠隔対応とされた駅で、聴覚障害者が駅員とどのようにコミュニケーションをとればよいのか具体的に示してもらいたい。 ・所沢駅の南口改札と中央改札の間は、通路ではなく交遊スペースのため点字ブロックが敷設できないとの回答だった。しかし、実際は人

	が往来している場所であり、点字ブロックが無いことで視覚障害者は大回りを余儀なくされており、合理的配慮に欠けるのではないかと。椅子があることで障害者にとってバリアにもなっている。点字の敷設について再検討してもらいたい。 ・視覚障害者のために所沢駅のホームから改札へ上がるエスカレータが中央と南のどちらの改札へ向かうのか、音声案内が欲しい。 ・県の条例ではエスカレータで立ち止まることになっているが、エスカレータの音声案内では「駆け上がったたり、駆け下りたりは危険です。」という内容のため、走らずに歩けば許されると誤解されてしまう。「立ち止まる」としてアナウンスを変更してもらいたい。県で音声案内のサンプルも配布しているようである。 ・所沢駅の音声案内はエスカレータの手前に設置されているので助かるが、他の駅ではエスカレータに乗った後に音声流れるため、タイミングが悪い。所沢駅のような設置位置に改めて欲しい。 ・タクシーの数が増えてきているとのことだが、所沢駅西口では20分や1時間も待たされることがある。健常者等は「タクシーGO」を利用できるが、急ぐときにこそタクシーが必要だがあてにできない。駅でのタクシー待ちの状況を把握して、そこに配車するようにできないものか。 ・タクシーやバスの待合には高齢者や障害者が多い。置けるようなベンチがあると良い。
事務局	今頂いた内容は、事務局で各事業者を確認の上、整理して回答したい。
事務局	■次回の協議会の日程について 令和8年2月6日（金）午前10時からを予定している。 詳細は改めて連絡する。
会長	以上で議事を終了する。 3 閉会